

監事監査報告書

平成 28 年 5 月 24 日

社会福祉法人 宝安寺社会事業部
理事長 望月 郁文 様

小田原市浜町 1 丁目 4 番 3 8 号
社会福祉法人 宝安寺社会事業部

監事 加藤 馨 

監事 志村 恵美子 

我々は、社会福祉法人宝安寺社会事業部の平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日までの事業年度に関して、理事の業務の執行状況及び社会福祉法人宝安寺社会事業部の財産の状況について平成 28 年 5 月 24 日監査を実施したので、その結果を次のとおり報告します。

監査結果

1. 理事の業務の執行状況

当期の理事会の開催状況は 5 月 25 日の決算理事会、11 月 24 日の一次補正予算理事会、3 月 3 日の予算理事会のほかに 10 回開催、評議員会は 5 月 25 日、11 月 24 日、3 月 3 日の 3 回開催、いずれも有効に成立し必要な審議が実施されている。

2. 法人の財産管理並びに定款について

資産の管理状況は財産目録、貸借対照表、資金収支計算書及び事業活動計算書、登記簿などに基づき確認した結果、財産、負債とも適正に管理されていることを認める。会計経理についても、経理規程に基づき適正に処理されており、証憑書類の管理保管も適正であることを認める。

3. 施設運営について

事業報告書に基づき確認した結果、全施設が法人本部方針との一貫性をもって各事業計画を推進していることを認める。積極的に地域交流を行い、地域との新たな連携強化を行っていること、人権擁護・虐待防止に向けた取り組みの充実、諸課題や職階に応じた人材育成のための研修実施、人事考課の充実等に進展があったことを認める。引き続き取り組んでいただくべき課題として、以下を挙げたい。まず、人権擁護の取り組みに関しては、今年度取り組んだ職員意識の向上につながる権利擁護活動と、現実的な虐待防止対応の狭間にある「虐待の芽を摘む」ための組織的対応に取り組んでいただきたい。また多様化する職員人材を育成するための人材育成制度の構築に取り組んでいただきたい。今年度も甚大な事故なく運営されたことはすばらしいので、今後もより着実なリスクマネジメント・苦情対応に職員が取り組む仕組みを作ることで、福祉サービスの質を高めていただきたいと思う。

以上。